

Bruno Taut

2024年度大阪公立大学公開講座

ブルーノ・タウトの生涯と モダニズム建築

講師：北村 昌史
大阪公立大学 文学研究科 教授

1933年、ドイツの建築家ブルーノ・タウト(1880-1938)は、ナチス政権の誕生に伴い日本に亡命しました。1920年代後半のベルリンでモダニズム建築による集合住宅の建築を進めたタウトは、ヴァイマル文化を嫌うナチスから目をつけられたのです。タウトの人生をドイツでの活動に始まり、日本での活動を経て、終焉の地トルコで死にいたるまで辿ります。

詳細は裏面をご覧ください ▶▶

2024年 10月5日(土)・12日(土)・19日(土) 14:00~15:30 全3回

- 会場：大阪公立大学 I-siteなんば 2階（大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル）
- 定員：60名（申込者多数の場合は抽選） ■ 対象者：どなたでも ■ 受講料：3,000円（全3回分）
- 申込方法：下の(1)(2)いずれかの方法でお申し込みください。

- (1) 申込フォーム：本学Webサイトまたは右記二次元コード「申込フォーム」からお申し込みください。
- (2) 往復はがき：往信用はがきに ①氏名（フリガナ）、②年齢、③郵便番号・住所、④電話番号、⑤このチラシの入手先 をご記入の上、下記宛先へお送りください。

※返信用はがきは両面とも白紙でお送りください。

（宛先）〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル
大阪公立大学 社会連携課「ブルーノ・タウト」係

※受講の可否は 9/25(水)までに通知します。届かない場合は必ずお問い合わせください。

■ 問合せ先：大阪公立大学 社会連携課 Tel 06-7656-5112 Fax 06-7656-5203

申込フォーム



申込締切
9/16(月)必着



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

大阪公立大学
生涯学習・公開講座Webサイト ▶

大阪公立大学公開講座

🔍 検索



※お申し込みの際の個人情報、申込後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

講師：北村 昌史
大阪公立大学 文学研究科 教授



講義概要

第1回 10月5日(土) モダニズム以前

モダニズム建築家としての地位を確立するまでにタウトは、田園都市、表現主義、ユートピア構想など当時の様々な芸術上の潮流の中で活動していました。1920年代前半までのタウトの活動を辿ります。



田園都市ファルケンベルク



トリーア通りの集合住宅

第2回 10月12日(土) モダニズム建築家としての全盛期

1920年代後半にタウトはベルリンを中心にモダニズム建築によるジードルングを多数建築し、この時期が彼の全盛期でした。馬蹄形ジードルングなどタウトの代表的設計が行われたこの時代のタウトを取りあげます。



馬蹄形ジードルング



シラーパーク

第3回 10月19日(土) 日本におけるタウト

タウトは、1933年から36年の日本滞在中は、生駒山頂に住宅地を設計したりしました（未完）が、仕事に恵まれず「建築家としての休暇」状態となりました。その間、日本文化論の文章を発表し、仙台や高崎で工芸品製作の指導を行いました。



シェーランク通りの集合住宅

会場アクセス

大阪公立大学I-siteなんば

アクセスマップ▶



大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル2階

- ・南海なんば駅なんばパークス方面出口より約800m
- ・OsakaMetroなんば駅（御堂筋線）⑤出口より約1000m
- ・OsakaMetro恵美須町駅（堺筋線）①B出口より約450m
- ・OsakaMetro大国町駅（御堂筋線/四つ橋線）①出口より約450m

※駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。

※感染症の流行や自然災害等の影響により、日程・開催方法・講座内容等が変更となる場合があります。